

1. 【開催案内】公開シンポジウム

「東京-Evo-リンピック～驚くべき性質や能力をもつ生き物たち～」

2. 【原子力規制庁】

原子力規制人材育成事業の令和3年度新規採択事業の公募について

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「東京-Evo-リンピック～驚くべき性質や能力をもつ生き物たち～」

-----■
【日時】2021年8月21日（土）13:30～16:00

【場所】オンライン開催

【主催】日本学術会議基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 進化学分科会、日本進化学会

【共催】東京都立大学

【開催趣旨】

自然界には驚くような性質や能力をもつ、あるいは極限環境にも生息できる生き物がいます。これらの性質もすべて進化の過程で獲得されたものです。本公開シンポジウムでは、このような驚くべき生物を最新の知見と共に紹介します。

【プログラム】

<http://www.sci.go.jp/ja/event/2021/313-s-0821.html>

【参加費】無料

【定員】1000名

【事前申し込み】要

日本進化学会第23回東京大会ウェブサイトから登録をお願いいたします
(8月10日（火）〆切)。

<https://evolgen.biol.se.tmu.ac.jp/sesj2021/>

【問い合わせ先】

日本進化学会第23回大会事務局・公開シンポジウム担当

メールアドレス：nmurak(a)tmu.ac.jp ※(a)を@にしてお送りください。

TEL：042-677-2424

■-----
【原子力規制庁】

原子力規制人材育成事業の令和3年度新規採択事業の公募について

-----■
原子力規制庁では、原子力規制分野の教育研究を底上げするとともに、将来的に原子力規制を牽引する人材を育成することを目的として、平成28年度から国内の大学等における原子力規制に関わる人材を効果的・効率的・戦略的に育成する事業を3～5年以内で支援する「原子力規制人材育成事業」を実施しています。

本事業では、平成28年度に採択した13事業が昨年度に終了となりましたことから、令和3年度は令和3年6月2日開催の第11回原子力規制委員会において原子力規制委員会職員（一般職技術系職員）のキャリアパスイメージにおける専門分野を示したことを踏まえ、これまで公募を行ってきた5つの類型を3つに再編して、新規事業の公募を行います。

※年度当たりの補助額：

（新規事業）1,000～3,000万円程度、（継続事業）～1,000万円程度

・令和3年度「原子力人材育成等推進事業費補助金（原子力規制人材育成事業）」について

<http://www.nsr.go.jp/nra/chotatsu/hojyokin/20210715.html>

具体的には、以下の類型の教育研究プログラムを募集します。

- (1) 原子力プラント規制等に係る業務（実用炉・核燃料施設、放射性廃棄物関連施設等の審査・検査）に必要な科学的・技術的知見（原子力安全、核セキュリティ、保障措置に係る科学的・技術的知見を含む）を身に付けた人材を育成するための教育プログラム
- (2) 放射線防護に係る業務（原子力災害対策、放射線規制、モニタリング）に必要な科学的・技術的知見を身に付けた人材を育成するための教育プログラム
- (3) 自然ハザード・耐震に係る業務（地盤、地震、津波、火山及び耐震・耐津波設計の審査）に必要な科学的・技術的知見を身に付けた人材を育成するための教育プログラム

本事業の公募を7月15日（木）から8月16日（月）12:00まで行いますので、公募要領を参照の上、奮って御応募いただけますようお願いいたします。

【問い合わせ先】

原子力規制庁人事課 久保田、西平、高平 電話：03-5114-2104

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<http://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記のURLに連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.sci.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34